

平成30年度 第3回市政モニターアンケート集計結果

「歳を重ねてからの過ごし方」について

趣旨 団塊世代が後期高齢者(75歳)となる2025年まで、あと約6年となりました。5人に1人が75歳以上ともいわれているなか、医療や介護が連携して高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の構築が全国的にすすんでいます。

実施日 平成30年11月8日(木)～11月22日(木)

対象者 市政モニター50人(任期:H30.4.1～H31.3.31)

回答率 50人/50人(100%)

※質問の趣旨に沿わない回答については集計結果には反映していません。

市政モニターの内訳

1 男女別		
	人数(人)	構成比
男	22	44.0%
女	28	56.0%
合計	50	100%

2 年代別		
	人数(人)	構成比
10代	3	6.0%
20代	6	12.0%
30代	7	14.0%
40代	9	18.0%
50代	7	14.0%
60代	9	18.0%
70代以上	9	18.0%
合計	50	100%

3 通信手段別		
	人数(人)	構成比
郵送	16	32.0%
Eメール	32	64.0%
FAX	2	4.0%
合計	50	100%

4 地域別		
	人数(人)	構成比
大宮中地区	4	8.0%
大宮西地区	7	14.0%
大宮東地区	6	12.0%
富丘地区	8	16.0%
富士根地区	11	22.0%
北部地区	7	14.0%
芝川地区	4	8.0%
大富士	3	6.0%
合計	50	100%

5 職業別		
	人数(人)	構成比
会社員	16	32.0%
自営業	2	4.0%
学生	3	6.0%
専業主婦・主夫	10	20.0%
パート・アルバイト	4	8.0%
無職	14	28.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100%

富士宮市 情報発信課 広聴広報係
電話:0544-22-1119 FAX:0544-22-1206
Eメール:koho@city.fujinomiya.lg.jp

はじめに、「家族の介護や看取り」について伺います。

●全員に伺います。

問1 あなたの家族（配偶者、父母、義父母、祖父母で、同居・別居に関わらず）について教えてください。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 病院に入院している家族がいる	2	4.0%
2 施設に入所している家族がいる	6	12.0%
3 自宅で療養中の（自力での生活が難しい）家族がいる	2	4.0%
4 家族の中で1～3のような状態の人はいない	40	80.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	1	0	1	0	0	0	2
2	1	0	1	2	1	1	0	6
3	0	0	0	0	1	0	1	2
4	2	5	6	6	5	8	8	40
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

●全員に伺います。

問2 あなたの家族で、医療や介護が必要になった場合、どこで過ごしてもらいたいですか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 病院などの医療施設	13	26.0%
2 特別養護老人ホームなどの福祉施設	9	18.0%
3 高齢者向けのケア付住宅	3	6.0%
4 医療や介護が必要になった本人の自宅	9	18.0%
5 あなた（回答者）や親族の家	5	10.0%
6 わからない	7	14.0%
7 その他（具体的に）	4	8.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	0	0	3	2	3	4	13
2	1	1	3	1	0	2	1	9
3	0	1	2	0	0	0	0	3
4	0	3	0	2	3	1	0	9
5	1	0	1	0	0	1	2	5
6	0	1	1	1	2	1	1	7
7	0	0	0	2	0	1	1	4
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

その他詳細

まずは自宅で介護サービス＋介護、その後施設や病院	40代女性
配偶者なら、デイサービスを利用しつつ自宅で一緒に。	40代男性
問1に記載の家族はいません。	60代男性
医療が必要なら医療施設であり設問に具体性がないので。	70代以上女性

●全員に伺います。

問3 あなたの家族が、治る見込みがない病気になった場合に、最期をどこで迎えてほしいと思っていますか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 病院などの医療施設	13	26.0%
2 特別養護老人ホームなどの福祉施設	2	4.0%
3 高齢者向けのケア付住宅	0	0.0%
4 医療や介護が必要になった本人の自宅	14	28.0%
5 あなた(回答者)や親族の家	13	26.0%
6 わからない	4	8.0%
7 その他(具体的に)	4	8.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	1	0	2	2	1	3	4	13
2	0	0	0	0	1	1	0	2
3	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	3	3	4	1	2	1	14
5	2	3	1	2	1	1	3	13
6	0	0	0	0	2	1	1	4
7	0	0	1	1	1	1	0	4
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

その他詳細

本人の希望に任せる	30代男性
本人が望んだ場所	40代男性
できるだけ本人の希望にこたえたいです。	50代女性
問1に記載の家族はいません。	60代男性

●全員に伺います。

問4 問2と問3について、それぞれの場所を選んだ理由を教えてください。

「6 わからない」を選んだ人はなぜ決められないのかを教えてください。（自由記述）

問2	問3	回答
1	1	以前私の祖父や祖母が病気で長期間入院していた時、家族は病院を訪問して手伝いをするだけで大変そうでした。もし今後自宅で介護をすることになったら、主に母に大きな負担がかかってしまうと思います。そして老人ホームは祖父母本人が好まないと思います。高齢者向けケア付き住宅は、軽く調べてみたところよく思いましたが、あまり馴染みがありませんでした。そこで一番慣れていて、医療面でも安心できる病院を選びました。
1	1	今現在、考えられないのと、病気なら医療を受けられる所が良いと思う。
1	1	病院や施設の方がいろいろな設備や良い環境が整っていると思うので。
1	1	在宅での介護には限界を感じた事があるからです。
1	1	・家庭では、十分に看取ることができないため。 ・家族で話し合いをして、この結論に至っている。

1	1	若い頃は必ず自分で最期まで介護をしようと思っていました。しかし自分も60歳になって、自分の人生も一度きり！と思うようになりました。介護して送った時、自分には歳をとった体力と希望が無かった時、残りの自分と主人との人生を楽しめるのか？それは悲しすぎると思います。各々が自分の人生を楽しんで終わりたいです。	60代女性
1	1	家族の負担が少なくなる	70代以上男性
1	1	自分が生きていくのに精一杯で、親族（配偶者を含む）と云えどもケアまで手が廻らない。	70代以上男性
1	2	家族の経済的環境により選択が異なると感じます。	50代男性
1	4	問2 治して元気になりたいから。 問3 治る見込みがなかったら家でゆっくりさせてあげ、残りの時間を一緒に過ごしたいと思うから。	70代以上女性
1	5	治る可能性があるのであれば、適切な処置をしてほしいので、医療施設を選ぶが、見込みがないのであれば、残りの時間を共に過ごしたいので、家を選ぶ。	40代女性
1	5	本人の意思の選択肢を	70代以上男性
1	7	問2 病院が一番安心できるからです。 問3 本人の希望にこたえたいです。	50代女性
2	1	子供もまだ小さく、自宅では難しいし、何かあった時のために、近くにみれる人がいる方が良いため	30代男性
2	1	問2 家族が高齢という事は、私自身が高齢になるため。 問3 治る見込みがない病気については、専門知識のある医療施設の方は安心	70代以上女性
2	2	安心して見守っていただける環境の中に居ることが本人にとって最も安心である。	60代女性
2	4	医療や介護が必要になった場合に自宅で世話をするのは難しいと思うから（問2）。また、治る見込みがないのであれば、思い出のある自宅に帰って欲しいから（問3）。	20代男性
2	4	問2 家族だけではケアしきれない部分もあると思うので、専門的な知識のある方がいる場所で診ていただきたい。状態によっては病院だと重く感じる部分があるので、できれば施設等が望ましいと思う。 問3 看護となると、いづどんな状況でも対応できる方がいる場所でのケアが必要になると思うので病院が望ましい。	30代女性
2	4	仕事をしていて、子供もいると正直、今の家族を中心に考えることになるため、自分が介護することが難しく、施設に入ってもらおうことになると思います。ただ、最期は自宅で過ごしたいだろうから、なるべく叶えてあげたいので、問3は、自宅を選択しました。	40代女性
2	4	問2 自分や家族が24時間介護が難しい、出来ないと思うので、老人ホームや福祉施設を希望します。 問3 親が入院した時にまだ治る前から、自宅に帰りたいとよく言われた事を思うと、最期は、自宅で迎えてほしい。	60代男性
2	5	私自身実家で暮らす予定がないことや、付きっきりで介護できる自信もないため、福祉施設に入ってもらおうのが安心だと思いました。治らない病気の場合は、できる限り看取りたいとは思いますが、これを選択しましたが、現実的に無理な場合はケア施設も視野に入れると思います。	10代女性
2	7	介護になった場合私が面倒を見るのは、仕事があるため難しいと考える為、最後は本人の希望を聞いてあげたい。	30代男性
3	1	両親と一緒に暮らしておらず、みてあげられないので設備が整ってる所で安心して暮らして欲しい。	30代女性

1 病院などの医療施設 2 特別養護老人ホームなどの福祉施設 3 高齢者向けのケア付住宅
4 医療や介護が必要になった本人の自宅 5 あなた（回答者）や親族の家 6 わからない 7 その他

3	4	介護老人ホーム？にいる遠い親戚の人がいて、老人ホームがどういうところか何となく知っています。その老人ホームはちょっと暗い感じがして、ボケていたりしているとはいえ、ああいう場所で過ごすのは自分なら嫌かもしれないなと思いました。1つしか知らないのので何とも言い切れませんが…。ケア付住宅も具体的にはよく知りません。が、何となく聞こえとイメージがいいです。 突然の病気などで意識もはっきりしていて、最後を迎える場所を選べるのなら、自分ならなれ親しんだ自分の家で迎えたいと思いました。	20代女性
3	4	問2 同じ境遇の人と一緒に過ごしたほうが気が休まるのかなと思い、そこにケアが付いて自宅のような感じで生活できるなら安心かなと思ったので。 問3 住み慣れた所で最期を迎えるのが一番安心するかと思ったので。	30代女性
4	4	現在病院に入院している家族が本人の自宅で過ごすことを望んでいるから	20代女性
4	4	難しいかもしれませんが、サービスを利用しつつ施設等を併用しながら自宅で過ごしてもらいたい。	40代女性
4	4	昨年実父を、今年義父を亡くしたが、二人とも自宅で死ぬ事を望んでいた。実父は私の自宅から900km離れた所に住んでいたが、倒れて救急車で運ばれて半年後に病院で亡くなった。義父は私の自宅から7mの距離に住んでいたが癌性の痛みが酷くなりケア病棟に入って3日で亡くなった。希望を叶えてあげられなかった。叶えてあげたかった。実父は富士宮は暑過ぎると言って自宅を離れたがらなかった。義父は痛みを耐えていたが最期に耐え切れずに実子がケア病棟に入れた。実の息子として義理の息子として何も出来なかった。	40代男性
4	4	本人（義両親）がそれを望んでおり、なるべくそれを叶えてあげたいので。	50代女性
4	4	終末医療・・・「自宅で過ごしたい」と話し合いをしています。	60代男性
4	5	親しんだ場所に最後はいた方が本人も嬉しいと思うから。	20代女性
4	5	最期は自分の家で息を引き取って欲しい。	20代女性
4	5	問2の場合、私の家族は子供と孫等で私の方が先に悪くなると思う。それと、もし子供なら、私が娘の所に介護に行くので、本人の自宅と書きました。もし、看取りなら、私の手で出来る限り側で見てあげたい。私の家の方が私が精神的に楽です。	50代女性
4	6	その症状による。	50代男性
5	5	なるべく信頼できる家族や親族に見てもらいたいと思うから。	10代男性
5	5	自宅が、落ち着くと思うから。	30代女性
5	5	多少の負担が掛かるが、出来るだけ、自宅で介護や最期を迎えて欲しい	60代男性
5	5	妻との二人暮らしのため、私（記入者）が介護者となった場合は、自宅でのケアを実施したい。	70代以上男性
6	1	子供がいないし選択技はないです。	50代女性
6	4	医療や介護が必要になった場合に過ごす場所について、家族の意向を聞いたことがないためわからない。最期を迎えるのは自宅が良いだろうと思っている。	30代女性
6	5	値段や仕様が分からない。最後は慣れた環境でと思うから。	20代男性
6	6	本人の意志が一番だと思いますが、金銭的に余裕があれば施設などで、なければ自宅となると思います。	50代男性
6	6	娘家族と生活しているので、まだ考えた事はありません。	60代女性
6	6	状況で変わる。	70代以上男性
6	7	問2については介護の程度にもよって変わると思われるので。	40代男性
7	1	問3については最期まで治療をしてほしい。	70代以上女性
7	4	実際病気をしている義両親は出来る事も多く、自宅で過ごしています。今はサポートが少ないけど、サポートが最大限となり、私達の仕事や生活に支障が出る時に今後は事前に考えておく予定です。	40代女性
7	5	今はお互い愛おしい存在で、少しでも一緒に居たいから。	40代男性
7	7	息子が富士に住んでいますが、迷惑かけたくない。	60代男性

1 病院などの医療施設 2 特別養護老人ホームなどの福祉施設 3 高齢者向けのケア付住宅
4 医療や介護が必要になった本人の自宅 5 あなた（回答者）や親族の家 6 わからない 7 その他

●全員に伺います。

問5 自力での生活が難しくなり、医療や介護が必要になった家族について、あなたはどのように関わろうと考えていますか。可能であれば、具体的な家族とあなたの続柄を含めて教えてください。（自由記述）

現時点では、同じ家に住んでいる祖父母が最もそのような状況になりそうなのですが、その場合は病院等に頻繁にお見舞いに行くくらいしかできないことがないかな、と思っています。もっと将来、自分又は配偶者の父母がそうなることを考えると、自分が育ててもらった時のように、責任持って最後まで面倒を見られたらいいなと思います。	10代女性
祖父母の場合は、福祉施設に何回か会いに行くくらいに関わりたいと思います。両親の場合にも、基本的には施設に会いに行くくらいに関わりたいです。	10代女性
私は長男なので、両親の面倒を将来みれたらいいかなと思っています。	10代男性
もし自分の親が要介護になったら、介護がどのくらい必要かにもよりますが、意識がはっきりしていて、そこまで重くないのなら自宅で介護サービスを依頼しつつ、自分でも様子を見にいったりできたらいいなと思っています。今は実家が新幹線の距離にあり、遠いので厳しいですが。義理の親でも同様です。ただ、意識がはっきりしないとか、お風呂に一人で入れないとか、そういう症状があれば、介護施設などに入所し、介護自体はプロにお任せして、自分は話し相手や様子を見に行くことを検討すると思います。	20代女性
実父母なら出来る限り娘である自分が介護なりお世話をしてあげたいと思う。	20代女性
祖母について、実子である伯母や孫である自分になるべく常に一緒にいて世話をしてあげたい	20代女性
もし自分の両親に医療・介護が必要になったら、会社の介護休暇を利用し、なるべくそばについていたい。治療費も負担できるまで負担したい。義両親に対しては、介護や面倒を見る自身がないため、医療機関や福祉施設を利用すると思う。	20代女性
可能な限りサポートをしたいが、プロに任せることになると思う。	20代男性
基本施設に預けてサポート。	20代男性
離れて暮らす父が居ます。自分に出来る事はしてあげたいと思います。	30代女性
医療や介護は出来るだけプロに任せ、自分（子）は家族（親）が寂しくないよう以前と変わらず接する（心の支え）	30代女性
両親、義両親の場合引き取って自宅で介護をしたいと考える。	30代女性
近くに住んでいる私の両親がそうなったのであれば、できれば家にいながら介護のサポートを自分ができればいいのですが、よく家族で共倒れとか聞くので、プロのサポートする人に日中来てもらって、夜サポートできればいいのかなと思う。	30代女性
自身の両親がそのような状況になった場合、本人の意思を出来るだけ尊重した上で施設や病院のケアも含めてできるだけ一緒にいる時間を持つと考える。	30代女性
なるべく本人の希望に沿いたいが、介護施設などを効率よく利用して欲しい。	30代男性
結婚して、親とは別に住んでるので、ずっとは見れないが、同じ市内のため、まめにいって、何かあれば駆けつけるようにしたい。入院するにしても市内にしたい。	30代男性
親であれば、仕事や生活とのバランスを考え、無理のない程度に関わるが、自分の子供であれば、他のことを後回しにして、最優先で面倒を見たいと思う。	40代女性
自分が介護できる範囲（程度）であるなら、みたいと思うが、定期的にヘルパーなどを利用して負担になりすぎないようにしたい。	40代女性

施設を頻繁に訪ねて気持ちや生活が明るくなるようにしてあげたいと思いますが、実際、実親も義親も関西にいるためできるかどうか。実際、義親が施設に入っていますが、義父であることと場所が離れていることを理由に全然行っていません。実親なら、もっと頻繁に通ってあげるのかも義親には申し訳ないのですが思います。自分の子供が小さいこともあり、自分の子供と親を天秤にかけると、子供を優先している気持ちも正直あると思います。	40代女性
親だったら、兄弟と協力して、可能な限り介護したいです。でも、現実になったらいろいろな問題もおこってくるのかもしれない。実際に経験したことがないので、よくわかりません。	40代女性
毎日は無理にしても、私や夫、夫の兄弟等で面会や必要な物をそろえたりしていく。	40代女性
同居の家族であれば、本人の希望と自分の仕事などの状態を考えながら、サービスを利用しつつ、やれることはやりたい。	40代女性
どのように関われるのかがさっぱりわかりません。	40代男性
義母がひとり残されたが自宅と7mの距離で毎晩妻が会いに行っている。4人めは後悔しないように全力でやれる事をしてあげたい。	40代男性
妻なら、出来るだけ自宅と一緒に。昼間自分が仕事している間は、デイサービスや訪問看護で来てもらいたい。	40代男性
今現在は実母は姉家の近くの施設に入居しており、同居の義両親は高齢ながらも自分のことは自分でしてくれていますが、だんだんできないことや物忘れが増えてきている状況です。私自身は介護の現場でパートで働き始め、勉強をしながら訪れる介護に備えようと思っています。無理をしすぎず介護と向き合おうと思っていますが、どうなるか不安もあります。	50代女性
義母がいます。自営業でずっと家には居ますが、ちゃんと診てやれる自信はありません。その時になってみないとわからないのが正直なところです。	50代女性
今は、具体的な家族がいないです。	50代女性
この答えだけは、夫の件で話させてください。私と夫にはもう両親も他界しています。夫は難病と脳梗塞等で病院や特養にも入所しましたが、痰の吸引が夜中に看護師さんがいないので、在宅にしました。ケアマネさん、往診の先生、福祉用品のレンタル、訪問看護、訪問入浴さえあれば、在宅で出来ました。私は一緒にいれて幸せでした。	50代女性
私の母は、実家で一人暮らししていますが、同居を薦めたが元気なので断られた、しかし体の自由がきかないようになったら、同居を考えたいと言った。妻も同じことを伝えたが断られた。	50代男性
出来る部分関わる。	50代男性
考えたくない、今は。金・精神・肉体的にかなりきついと思います。だから新聞沙汰の事件が絶えないと思います。	50代男性
いないので考えた事ありません。	60代女性
介護5となり全く私が娘であることは理解できない状態がもう5年以上続いています。家では十分に栄養・睡眠をとることが出来ず現在のように元気に生きていくことが出来なかったと思います。	60代女性
93歳の母は姉とずっと同居しています。小さい頃から当然のようでした。でも自分は、子供達もそれぞれ家を持ち家族と暮らしています。私達夫婦はいつも子供達の世話にはならずある程度の歳になったら家を売って高齢者向けケア付住居に移ろう！と話しています。子供達に介護をする老後を送ってほしくないです。それぞれ子供を育て終えたら夫婦の楽しみを見つけて暮らしてほしいからです。	60代女性
配偶者に寄り添い、できる限りの看護をしたい。	60代男性
今は考えられません。	60代男性
理想は在宅でのターミナルケアですが、難しい問題が多いと認識しています。	60代男性

自分は介護の資格を取り勉強しました。家族との接し方が少しですが変わりました。よく話しをして生活の動き（歩き方など）早くとか無理を言わないように介護する気持ちが分かるように少しなりましたね。	60代男性
精神的援助をしていきたい。	60代男性
どちらかと言えば自分が介護される立場。とりあえず、そのような家族はいない。	70代以上女性
現在は直面していないが、出来る範囲で家族と一緒に生活したい。そしてショートステイとかデイサービスを利用して家族の負担も軽減していきたい。	70代以上女性
親（1人）息子（1人）の2人で生活しています。私自身が介護等が必要になった時は病院などの医療施設に入りたいと思っています。	70代以上女性
この問題の真っ只中にいます。私74歳夫79歳元気なうちは助け合い、努力しながら、家で過ごしたいと思っていますが、片方が病気や動けない等介護が必要になった時には介護施設にお世話になりたいです（老々介護のため）。	70代以上女性
子供たちの工夫に申し訳ないけど委ねたいと考えてます。	70代以上男性
1) 夫婦二人暮らしのため、記入者の妻の介護が必要となる可能性あり。 2) 介護者（私）の体力の範囲内で、自宅での介護を考えている。	70代以上男性
妻が要介護になったら献身介護する	70代以上男性
現在、老夫婦2人だけの生活であるが、配偶者が、そのような状態になった場合、問4の回答の如く、自分の生活で手一杯の状態になろうと想像され、ケアしたくても出来ないと思う。	70代以上男性

次に、「あなた自身」について伺います。

●全員に伺います。

問6 あなた自身が、医療や介護が必要になったとき、どこで過ごしたいと思っていますか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 病院などの医療施設	17	34.0%
2 特別養護老人ホームなどの福祉施設	8	16.0%
3 高齢者向けのケア付住宅	10	20.0%
4 自宅	8	16.0%
5 子どもや親族の家	1	2.0%
6 わからない	4	8.0%
7 その他(具体的に)	2	4.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	2	2	0	2	2	2	7	17
2	0	2	3	1	0	2	0	8
3	0	2	2	1	2	2	1	10
4	0	0	2	2	2	1	1	8
5	1	0	0	0	0	0	0	1
6	0	0	0	2	1	1	0	4
7	0	0	0	1	0	1	0	2
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

その他詳細

家族に迷惑がかからない所	40代男性
可能な限り在宅で介助に負担を感じて来たら施設利用考えて貰いたい	60代男性

●全員に伺います。

問7 あなた自身が、治る見込みがない病気になった場合に、最期をどこで迎えたいと思っていますか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 病院などの医療施設	18	36.0%
2 特別養護老人ホームなどの福祉施設	4	8.0%
3 高齢者向けのケア付住宅	2	4.0%
4 自宅	21	42.0%
5 子どもや親族の家	0	0.0%
6 わからない	2	4.0%
7 その他(具体的に)	3	6.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	2	2	2	2	2	2	6	18
2	0	0	0	1	1	2	0	4
3	0	0	0	1	0	1	0	2
4	1	4	5	3	2	3	3	21
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	1	1	0	0	2
7	0	0	0	1	1	1	0	3
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

その他詳細

家族に迷惑がかからない所	40代男性
症状による。	50代男性
病気にもよりますが、がん等ならホスピスで認知症なら高齢者施設	60代男性

●全員に伺います。

問8 問6 と問7 について、それぞれの場所を選んだ理由を教えてください。

「6 わからない」を選んだ人はなぜ決められないのかを教えてください。（自由記述）

問6	問7	問8	
1	1	自分が独り身だった場合を考えると、死後数週間も気づかれずに放置されてしまう孤独死の話もよく聞くので、発病したら早めに医療機関にかかりたいです。また、家族がいた場合も、周りに出来るだけ迷惑・心配をかけないように自宅ではなく医療機関に滞在して死を迎えたいです。	10代女性
1	1	とにかくお金と迷惑がかからないように最期を迎えたいので、病院にいたいです。	10代女性
1	1	なるべく家族に頼らないようにしたいから	20代女性
1	1	家族に迷惑をかけたくない。	20代女性
1	1	病院や介護施設の方が環境が整っていると思うし、家族にも迷惑がかからないと思うので。	40代女性
1	1	サポートする人が少ないので、自分で出来ることはしていく。	40代女性
1	1	検体をかんがえています。	50代女性
1	1	息子が富士に住んでいますが、迷惑かけたくない。	60代男性
1	1	・自分の意志でそうしてもら ・家族で話し合いをして結論	60代男性

1	1	家族に負担をかけたくない。施設より病院の方が雰囲気がいいように感じる。	70代以上女性
1	1	息子に迷惑をかけたくない。	70代以上女性
1	1	問6 本心は自宅が一番良いのですが、動けない状態になりました時には医療施設にお願いしたいです。 問7 体力も衰え、子供も遠方のため、医療施設にお願いしたいです。	70代以上女性
1	1	家族（配偶者を含む）に迷惑を掛けたくない。	70代以上男性
1	1	こだわりが全くありません	70代以上男性
1	2	家族環境と経済的環境により選択場所が変わると思う。	50代男性
1	4	病院で治したい。治る見込みがないなら自宅にいたい。	70代以上女性
1	4	静かに終末を迎えたい	70代以上男性
2	1	病院などの方が自分も安心だし、家族への負担を少なく出来るのかなと思います。	30代女性
2	1	家族に迷惑をかけたくないので、入院したい。	30代男性
2	2	母同様、福祉施設にお世話になる事が一番安定して我が子も安心できる家族や子供たちに苦勞かけたくないです。設備の整った場所で、友人を作ったり楽しく過ごせれば良いかと思いました。	60代女性
2	2	出来る限り子供には迷惑がかからないよう施設で過ごしたいが、最後は自宅に戻りたいと思う。	60代男性
2	4	出来る限り子供には迷惑がかからないよう施設で過ごしたいが、最後は自宅に戻りたいと思う。	20代女性
2	4	日頃は家族などに迷惑をかけたくない（問6）が、最期は自宅で迎えたい（問7）から。	20代男性
2	4	問6 できるだけ家族に負担のないように生活したいと思うため。 問7 自宅が好きだから。	30代女性
2	4	子供に迷惑をかけたくないので、施設ですごし、最期は思い出の多い自宅がいいです。	40代女性
3	1	面倒を見てくれる人がいないので。	50代女性
3	1	問6 家族の負担を減らしたい。個室での生活が可能な点。 問7 医療施設でのペインクリニック等の支援を望む。	70代以上男性
3	3	子供や身内に迷惑をかけたくない。	40代女性
3	3	最期を迎える家は高齢者向けケア住宅と決めています。入院をしなければいけないまではそこで暮らしたいと思っています。今夫婦2人で楽しい暮らしをさせてもらえるのも、姉のおかげとは思っています。でももし母がいよいよとなった時、自宅での介護は姉にもしてほしくないです。	60代女性
3	4	子どもたちに介護してほしいとは思いません。大変でしょうし。自分たちで老後の資金を貯めて、そういう介護施設に入所できるように手配すると思います。介護などがあまり必要でなく、周りの負担が少ないのなら、願わくば慣れ親しんだ家で最後を迎えたいです。	20代女性
3	4	仲間が居そう。 慣れた場所が良い。	20代男性
3	4	自分で生活できる限りは自宅で過ごしたいが、人の手を借りないと暮らせないなら、家族に負担をかけられないためケア付き住宅に入居する。可能であれば最期は自宅で迎えたい。	30代女性
3	4	問6 それが安心、過ごしやすいかと思ったので。 問7 自分が住み慣れた所にいるのが落ち着くと思うので。	30代女性
3	4	ケア付ならばなるべく自分の事が自分で出来ると思う。治る見込みなしの病気なら、娘や孫を見ていたいの家。	60代女性
3	6	子供がいないので、できれば老後はケア付住宅が安心かなと思っています。自分の最期は、なるべく残る家族や親せきに大変な思いをかけたくないので、病院などの医療施設が最善かなと思いますが、それもさみしいような気もして、現時点ではわかりません。	50代女性

1 病院などの医療施設 2 特別養護老人ホームなどの福祉施設 3 高齢者向けのケア付住宅
4 自宅 5 子どもや親族の家 6 わからない 7 その他

4	4	落ち着くと思うから	30代女性
4	4	施設に入ることなど考えられない。他人と同じ部屋、共同生活、環境などが性に合わない。	30代男性
4	4	介護する人、お金、の問題さえ考えなければ、自宅以外の良い方法は無いと思われるので。ただし上記2点に問題があるならば、他の選択肢を取らざるを得ない。	40代男性
4	4	親を3人亡くしたが3人とも自宅での最期を希望して叶わなかったから。	40代男性
4	4	子供や孫に負担かけたくないですし、自分も気をつけて診てもらうより、たとえ一人でも気楽に過ごしたい。ただ、子供には自己負担額が出るようなら、その時だけヘルパーさんの代わりに身の回りとか薬をもらいに行ったりしてもらえばいいと思っています。	50代女性
4	4	えっ普通じゃないんですか？自宅が一番安心。くつろげる自分の居場所ですからね。	50代男性
4	4	過ごしやすいと思います。	60代男性
4	4	最期まで家族の中で過ごしたい。	70代以上男性
5	4	安心できる場所にいたいと思うからです。施設は料金が高いイメージもあるし、環境も悪いと思います。	10代男性
6	2	自分の介護の場合は、介護してくれる人の判断に任せたい。私が希望を言える立場ではないと思う。	40代女性
6	4	自分自身が介護が、必要になった時に、配偶者がどのような状態になっているか、解からないので、わからないにした。	60代男性
6	6	希望としては家だが、家族の負担になるようなら施設を利用したい。	40代女性
6	7	死んだ時の後始末の関係で自宅は難しいが容体による。	50代男性
7	7	本人としては自宅で過ごしたいが、家族が看護で疲れてしまうのもイヤだし。金銭的な面でも考えてしまう。その時に家族に判断してほしい。	40代男性
7	7	在宅での家族（介助者）の負担を考えました。	60代男性

1 病院などの医療施設 2 特別養護老人ホームなどの福祉施設 3 高齢者向けのケア付住宅
4 自宅 5 子どもや親族の家 6 わからない 7 その他

次に、「在宅医療」について伺います。

※在宅医療とは、入院や通院ではなく、自宅に医療者(医師や看護師等)が訪問し、病院と同じような医療・治療を受けることです。

●全員に伺います。

問9-1 在宅医療について、どのようなイメージを持っていますか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 とても快適で安心だと思う	6	12.0%
2 ある程度快適で安心だと思う	19	38.0%
3 どちらともいえない	8	16.0%
4 少しは不都合なことや不安なことがある	10	20.0%
5 とても不都合で不安だと思う	3	6.0%
6 よくわからない	4	8.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	1	1	0	3	1	0	6
2	1	2	3	4	1	3	5	19
3	0	0	2	0	2	3	1	8
4	2	3	1	3	0	0	1	10
5	0	0	0	1	0	1	1	3
6	0	0	0	1	1	1	1	4
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

●全員に伺います。

問9-2 問9-1 で答えた理由は。（どのような点が安心／不安／わからない等）（自由記述）

問9-1	問9-2	
1	どこまで診療してもらえるのかがよくわかりませんが、しんどい体をおして通院する労力が必要ないのはありがたいと思います。	20代女性
1	祖母がそうだったため	30代女性
1	施設より快適におもえるからです。	50代女性
1	自宅で、とても心が落ち着くからです。	50代女性
1	自宅が安心であり、自由な環境であれば、元気の元だねになると感じます。	50代男性
1	時間的にも、経済的にも、精神的にも安心だと思います。	60代男性
2	交通の便に困っていたり、身動きがとりづらい人達にとっては、便利だと思います。そもそも、在宅医療ができるほど、医師は足りているのか？	10代男性
2	安心できる自宅で専門家の治療を受けられれば、ストレスも少なくなると思うから	20代女性
2	家で医療受けられるのは便利。ただ、受けられる医療行為の制約が大きい	20代男性
2	病院に入院したり通院すること自体がストレスになるので、自宅で医療が受けられるのはありがたい。	30代女性
2	何か起きたときに迅速な対応が受けられない点は不安としてある。	30代男性
2	その時は安心だが、病状はいきなり変わるから	30代男性
2	お互い高齢になった場合、交通の便が悪いため、来てもらわないと医療を受けることが困難なので。	40代女性
2	住んでいた環境で過ごせるのはとても良いと思う。ただサポートする家族がいかにサービスを使えるか、それをどうしたらいいかを教えてくれる市や病院のサービス力もあるのか？と思う。介護で子供が仕事を辞めるケースが多いのを知ってほしい。	40代女性
2	環境が許すならば、自宅が良いに決まっていると思っているので。	40代男性
2	家庭環境も見た上で、医療のアドバイスをいただけそう。病院での待ち時間短縮になるのでは。	40代男性
2	ずっとそばで様子がわかるのは、良いところですが、急変した場合はすぐ先生が捕まるか不安だと思います。	50代女性
2	在宅医療の事はくわしくありません。	60代女性
2	ある程度快適で安心だと思うが、お金の事が心配	60代男性
2	数年前に大切な方を、在宅医療を一か月半行いましたので。	60代男性
2	在宅医療の知識があまりないが、今知っている限りそう思いました。	70代以上女性
2	家族と一緒にすることは安心で楽しいと思う。しかし家族の負担を考えると複雑な気持ちにもなる。	70代以上女性
2	本人の意思を忖度してみると	70代以上男性
2	自宅を使うのは、今迄の生活の延長の部分もある。但し、家族の負担も生じる訳で、結果として”2”を選択	70代以上男性
2	ある程度の我儘が言える	70代以上男性
3	在宅医療と聞いても、何なのかあまり分かりません。	30代女性

問9-1 在宅医療のイメージ

- 1 とても快適で安心だと思う 2 ある程度快適で安心だと思う 3 どちらともいえない
4 少しは不都合なことや不安なことがある 5 とても不都合で不安だと思う 6 よくわからない

3	病院での待ち時間や病院まで向かうまでの交通を考えるととても便利で快適だとも思うが、反面設備等にはやはり限界があると感じ、とっさの時に対応できるのかという不安がある。	30代女性
3	様々なことが起きるから。	50代男性
3	やはり金銭的な事で。在宅、入院、通院で同じという事はないと思います。物価は上がるけど給料は上がらない。少しでも負担がない方を選びたいです。	50代男性
3	自分の事がどれだけ出来るか？という状況にもより違うと思います。日常生活をある程度出来る身体であれば在宅はありがたいと思います。でももし動きに制限があるような身体であったら、辛いかな？と思います。通院の分は助かりますが、治療だけで置いて行かれても生活面で不安です。	60代女性
3	体調が急に悪くなったときは、不安です。在宅医療は、あまりよく分かりません。	60代男性
3	わからない	60代男性
3	1人で過ごすことに不安。結局だれかに目をかけてもらうのですから・・・今ここでハッキリとした事はわからない。先の事を考えると、とても不安ですが、今は楽しく生活しております。	70代以上女性
4	家だと常に専門家やいろいろな医療器具がそばにあるわけではないので、少し不安です。しかし、治療を受ける本人からすれば病院にずっと滞在するよりは快適かもしれません。	10代女性
4	病院にいれば1人で死ぬことは無いですし、急変があっても誰かが対応してくれると思いますが、家の場合は訪問して頂いた時以外は心配です。	10代女性
4	最新の医療を受けられないイメージがある。	20代女性
4	費用が高そう。	20代女性
4	医師や看護師が24時間側にいるわけではない（いない時間の方が遥かに長い）ため、いない間に病状が悪化した場合に家族などがどこまで対応できるか分からないから。	20代男性
4	急に何かあったときは病院ならすぐ呼べるが、家なら電話したり、手間が増えそうなので。	30代女性
4	家族が、ある程度のケアをしななければならないのであれば、苦勞をさせてしまい、その家族の負担が大きくなってしまいうことが不安。	40代女性
4	自宅だと衛生の面や介護する家族が大変なイメージがあります。	40代女性
4	家族の負担。病院のように常に医療者がいないので、何かあった時に対応できるか心配。	40代女性
4	病気の急変や夜中等、すぐに対応が困難なのではないでしょうか？	70代以上女性
5	自宅で過ごせる安心感はこの上ないが、夜間対応やどのような医療が受けられるか知識がない。	40代男性
5	自宅まで訪問してもらわなければ動けない状況では話す相手もなく行動が制限されてしまう。ですから在宅医療には周囲の人の迷惑をかけることが多いので避けたい。	60代女性
5	看護の内容が分からないから。	70代以上男性
6	聞いたことはありますが、知識がないので、分かりません。	40代女性
6	身近で在宅医療を経験した人がいないので、具体的なイメージがわかりません。ただ、漠然と家で治療ができるのであれば、それは良いことなのかなと感じます。	50代女性
6	1人2人の問題では無いので、抑々富士宮市に在宅医療を行ってる医療機関が有るの？	60代男性
6	他の家族（配偶者を含む）への負担が、どの程度かわからない。	70代以上男性

問9-1 在宅医療のイメージ

- 1 とても快適で安心だと思う 2 ある程度快適で安心だと思う 3 どちらともいえない
4 少しは不都合なことや不安ことがある 5 とても不都合で不安だと思う 6 よくわからない

●全員に伺います。

問10 在宅医療について、知りたいことがあれば教えてください。（自由記述）

問10	
料金は病院で入院するのとどれくらい違うのかが気になります。	10代女性
・市の方で、保障までを行っているんですか？ ・在宅医療のうまくいっている地域の例やメリット・デメリット	10代男性
どこまで診療できるのか。	20代女性
どの程度までの医療が受けられるのか、週どのくらい看護師さんや介護士さんが来てくれるのか。	20代女性
・医療費用は変わらないのか ・付き添いは必要か ・富士宮市内で、在宅医療をしてくれる病院はどのくらい存在するのか（または既に実施している病院数）	20代女性
在宅医療が受けられないケースはあるのか。その場合、どのようなケースか、どの程度の症状までは適用可能なのか。	30代女性
家に行く交通費は自分もちになるのですか？それとも税金でまかなわれるのですか？	30代女性
どんな自宅環境でも構わないのか→例えば、ベッドでないといけない、スペースは何帖ないといけない等。 訪問日時調整について→曜日、時間、訪問回数の制限等。	30代女性
今のところ分からないことが多すぎる。	40代女性
金額が高いのでしょうか。 女性の医師や看護師など、指定できるのでしょうか。 予約が取りにくいのでしょうか。	40代女性
・病院に入院して、その後のサポートに対する事を教えてくれる。どこで？等をしっかり伝えて、家族をサポート!!という体制を整えてほしい。何故かそういう事をしっかりしてくれないのか？とても気になります。 ・在宅でサービスを使える、どれ位のものが使える。介護保険について等もっと掲示してもいいと思います。	40代女性
周囲に在宅医療をしている方がいないので、実際どのような点でよいか、困る点があるか、使えるサービスなど。訪問してくれる医師がいるのか。病院は、施設や入院等を勧めることが多いのでは？	40代女性
病院に入院していれば定期的な検診と看護師の見廻りと夜間の対応があるがどこまで受けられるのか。機器を使った検査は病院まで搬送されるのか？	40代男性
金額。来てくれる頻度。	40代男性
費用、広さ、他	50代女性
コスト。	50代男性
在宅医療可能な病院や医師・看護婦の定期的見守りの出来る範囲（訪問回数・ケア内容・リハビリ内容など）が不安である。	60代女性
在宅医療も訪問介護もそうですが、寝たきりやたとえ起きられても一人で暮らすのが困難な人はやはり入所して・・・と思うのですが。それは金銭的にも難しいのでしょうか？日に何回か誰かが来て世話をしてくれて、また何時間か一人で…の繰り返しは辛すぎます。	60代女性
具体的に考えた事が無い。	60代男性
在宅医療・・・具体的事例を知りたいと思います。	60代男性
富士宮市に在宅医療に力を入れている医療機関が有るの？また医師が居ますか？	60代男性
どれも同じかと思いますが、医療費がかかりそうです。	60代男性
知っています。	60代男性
在宅医療を受けるため自分住居の改造がどうするのか	60代男性

富士宮では、どの程度普及しているのか。どこに相談すればいいのか知りたいです。	70代以上女性
・在宅医療では訪問してくれる医師、看護師はどこから派遣していただけるのか。 ・定期的に訪問してもらえるのか。	70代以上女性
まだ在宅医療の内容が把握されていないのが実情です。	70代以上男性
1か月分の経費	70代以上男性
他の家族（配偶者を含む）への負担が、どの程度かわからない。	70代以上男性

最後に、「終活への意識」について伺います。

※終活とは、「人生の終わりについて考える活動」を略した造語です。

2009年頃から終活に関する書籍が出版されはじめ、その後、映画が公開されたり、2012年の「ユーキャン新語・流行語大賞」でのトップテン選出などを経て、近年話題にあがることになっていきます。

●全員に伺います。

問11-1 あなたは「終活」を意識したことがありますか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 関心があり、実際に行動している	12	24.0%
2 関心はあるが、何もしていない	23	46.0%
3 言葉は聞いたことはあるが、関心はない	14	28.0%
4 知らなかった(初めて聞いた)	1	2.0%
5 その他(具体的に)	0	0.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	0	0	1	2	3	6	12
2	2	3	3	5	4	4	2	23
3	1	3	4	3	1	2	0	14
4	0	0	0	0	0	0	1	1
5	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

●全員に伺います。

問11-2 あなたは「終活」ときいて、どのような内容で、何歳くらいからはじめるものと思いますか。（自由記述）

問11-2	
遺産相続や墓・葬式など、自分が死んだ時に周囲の人が困りそうなことを事前に処理しておくこと。また、自分の人生を振り返り、満足して死を受け入れるために準備。 早くて45歳、平均的には60歳くらいから始めるものだと考えています。	10代女性
身辺整理や、財産分与、残していく人への気持ちをしたためたり、やり残したと感じていることを実践することだと思います。また65歳くらいからだと思います。	10代女性
75歳からだと思います。	10代男性
死んだ後のお葬式やお墓、遺言などをこうしてほしい、という要望をまとめて遺すことで、60代以降くらいから始めるもの。	20代女性
子供が自立したら、50代くらいから始めてもよいと思う。	20代女性
身の回りのものを処分したり、葬儀や墓や相続について生前に考えておくこと 60歳くらいから	20代女性
・50歳くらいから始めるものではないかなと思う ・いつ何が起こるか分からないので生前にいろいろと準備をしておきたい	20代女性
遺言の準備、葬儀費用等の準備をして遺族が困らないようにすることで、（平均寿命が80歳ほどなので）70歳くらいから少しずつ始めるものだと思う。	20代男性
貯金？墓を決める？50歳スタート	20代男性
60歳くらいから。自分の身の回りの整理やお金などの事。	30代女性
自分の人生の終え方、亡くなった後の手続きについてまとめておくこと。だいたい定年後からはじめるイメージである。	30代女性
70歳	30代女性
定年を終えた60歳すぎくらいから。	30代女性
残った家族や周囲の人に自分の人生を伝える手段。 家族ができた時(結婚したら、子どもができた等)や、親族等に医療や介護が必要だと感じた時に始めるもので、年齢は考えたことがない。	30代女性
会社を退職した後	30代男性
相続や身辺整理。70歳位	30代男性
60歳前後から、自分の荷物(洋服・趣味のものなど)を整理する。	40代女性
寿命は人それぞれなので、終活はいつでもするべきかもしれないが、特に病氣もしていないので、今は正直考えていない。	40代女性
お葬式やお墓のことを事前に決めておくことという内容で、70歳から80歳くらいで始めるものと思います。	40代女性
65歳ぐらいから、財産整理や通帳や印鑑、大事なものの整理	40代女性
何歳からでも、グリーフケアをもっと知った方がよい。	40代女性
子どもが成長してから…60代くらい？何かあった時、伝えたいこと、希望などを書いておく。	40代女性
物やお金の整理、相続財産をどのようにするかを事前に相続者とすり合わせる、みたいなイメージ。60過ぎたら少しずつ準備、70越えたらもっと具体的に、みたいなイメージ。	40代男性
子供が成人する前からすべきと考え始めた。今年子供が成人したのでそろそろ始めるべきと考えている。	40代男性
銀行口座を複数持っていたが、最小限に減らした。45歳現在行っている。	40代男性

終活とは、残る人のためのものだと思います。私にとっての終活とは、残る家族が困らないように身の回りの物の整理や、ペットのこと、お金などのことを記した遺言書などの用意を済ませておくことです。災害も多い昨今、事故や病気など、いつ何が起こるか分からないので何歳からということなく、もう準備しておいたほうがより良いと感じます。	50代女性
70代くらいに、先ずは使わないものから、捨てていき、最後に土地の相続や貯金通帳の整理をしておく。	50代女性
60歳から70歳の間で行いたいと思います。残すものがほとんどありません。残したい家族もいません。	50代女性
私は50歳あたりから考えてもいいと感じます。	50代女性
70歳以上	50代男性
自分に残されている時間から決まるので一概には言えない。	50代男性
人それぞれです。その人の生き方、金銭、環境で違います。極端な話、結婚と同じだと思います。	50代男性
来年70歳なので、終活はじめました。	60代女性
子供が安心できる生活を送っていく自信が無くなった時。	60代女性
私は60歳を機に色々考え始めました。片づけなどにも体力が必要です。70・80歳では遅いと思い、60を機に少しずつやっています。	60代女性
身の回りの要らない物を、整理する。身体の自由が利かなくなったら。	60代男性
わかりません。	60代男性
葬儀などで始めるなら65才くらいです。	60代男性
若い頃から必要だと思います。あと還暦や定年退職後です。	60代男性
もう実施しなければと思っています。	60代男性
・頭の中では、今後の自分について抽いているものがある ・定年退職後から考えはじめるのが良いと思う	60代男性
連れあいが亡くなったら。	70代以上女性
身辺整理（衣類、書籍、収集したものなど）。また金融関係の集中化。判断できる70歳頃から。	70代以上女性
家を建て替えるにあたり余分なものはほとんど処分。処分するには気も使うし、お金もかかります。歳は関係ない。	70代以上女性
早い方が良いと思いますが、70歳（元気のうち）位から、身のまわり（衣類等あげられる物はなるべく早く処分）して大事な物は子供・孫・曾孫に。	70代以上女性
80才	70代以上男性
1) 内容は、出版されている本、金融機関が発行する資料を参考とする。 2) 私の場合、後期高齢者となった時点で考え始めた。	70代以上男性
身辺整理、83歳	70代以上男性
巷間、定年延長が話題になっていますが、退職から終末までの”いきざま”遅くとも退職の2～3年前から考えた方がいいのでは！！	70代以上男性
わからない。	70代以上男性

※問12は平成30年度富士宮市マイエンディングノートを見た上で回答いただきました。

●全員に伺います。

問12-1 「マイエンディングノート」のように、終活の一つとして、自分の情報を一冊のノートにまとめておく取り組みを知っていましたか。（当てはまるもの一つ）

選択項目	回答数	構成比
1 知っていて、取り組んだことがある	4	8.0%
2 知っているが、取り組んだことはない	29	58.0%
3 知らなかった	17	34.0%
合計	50	100.0%

年齢別

回答番号	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
1	0	0	0	1	1	0	2	4
2	2	1	5	4	4	7	6	29
3	1	5	2	4	2	2	1	17
合計	3	6	7	9	7	9	9	50

●全員に伺います。

問12-2 「マイエンディングノート」を見て、どのように感じましたか。（自由記述）

問12-1	問12-2	
1	これを作成するのはとても大切。でもとても時間がある。このノートがあることを家族に伝えておかないと、思い通りになることは難しい。ましてや親でなく、子が先にというケースではノートを使わなそう。	40代女性
1	いよいよかと感じた。子供にわかりやすく書いておこうと思いました。	50代女性
1	大変良い事だと思います。書く事により、自分の一生が走馬灯のようにうっしだされた気がしました。	70代以上女性
1	一部、記載しているが、完成はしていません。多分、未完のまま終末を迎えるのでは。	70代以上男性
2	日本で仏教が根強く信仰されていた昔はお経を読むことで解決されてきた問題が、現代ではこのような意識的な活動によって肩代わりされているのだな、と思いました。	10代女性
2	今入院している家族がもしこのようなものを残してくれてあったら、今後のことを考えるのにとっても役立ったと思う	20代女性
2	少し悲しい気がするが、予めまとめておくとよさそうな内容だった。特に資産はひとまとめにしておくとお便利だと思う。	30代女性
2	勉強になった。	30代女性
2	自分に何かあって、話せなくなったら、周りにとって助かるものだなと思いました。	30代女性
2	人生を振り返るきっかけとなり、良いことも嫌なことも思い出すと思う。楽しい気分にはあまりならない。	30代女性
2	自分が存在した証を野祖酢方法としてはよいと思う。自分がやるかといわれれば他聞面倒なのでやらないが。	30代男性
2	自分は作りたくないと思う。	40代女性

2	死んだあとのことのみと思っていたが、「もしもの時」のページを見て、意思が伝えられない状態も伝えることができることを初めて知った。	40代女性
2	義父が準備しているのを見てさびしくなったが残された人のための事とわかり理解した。	40代男性
2	このノート一冊あると、残された家族が遺品整理等する時、助かるだろうと思った。記入しておくべきだ。	40代男性
2	もしかしたら、近い未来の事だと感じました。	50代女性
2	もう、そんなときなのかな？1日を大切にしたいです。	50代女性
2	「マイエンディングノート」やろうと思った。	50代男性
2	必要な部分が明確化される。	50代男性
2	ほしかったので、うれしかったです。	60代女性
2	とても必要な事項ですがあまり整理されていない事ばかりで大切であることが分かってはいるが、避けてきていることばかり。	60代女性
2	夫婦、親子とはいえ、自分の思いをしっかり伝えるのは難しいと思います。日頃からノートに書き留めておく事は良いと思います。書く事で自分自身の確認にもなります。	60代女性
2	後に残った人には、助かる事が有る。	60代男性
2	自分のことを見つめるために役立つと思います。	60代男性
2	時代にマッチしてるのではないのでしょうか	60代男性
2	早速、活用します。	60代男性
2	書いてみたくなった。	70代以上女性
2	記入する事が多くで大変そう。でもこれがあれば残された家族は助かることも多いと思う。取り組む事で終活の意識も上がりそう。	70代以上女性
2	自分を見つめなおすためによいと思うけど、全ては書く必要はないと思います。	70代以上女性
2	一応それをいつかは仕上げておきたいと考えてます。	70代以上男性
2	具体的な記述法で、とても参考になる。	70代以上男性
2	自分なりにより簡単にしたい	70代以上男性
3	記録にすることができて、良いと思います。	10代男性
3	いい取り組みだと思いました。	20代女性
3	具体的に自分の希望を残せることは、残された家族の負担も減っていいと思う。	20代女性
3	自分の死を考えるきっかけになり、少し悲しい・寂しい気持ちになった。いざ「書いておいて」と言われても、書けないと思う。しかし、後に遺された子どもたちのことを考えるとこういうノートを活用するのも一つの方法だと思う。	20代女性
3	もっと広まって、多くの人が活用するようになれば良いと思う。	20代男性
3	まだあまり興味がない。	20代男性
3	書く内容が細かく分かれてるので、分かりやすいし書きやすいと思う。	30代女性
3	何とも言えない。価値観によると思う	30代男性
3	こういうこともこれからは必要なのかな？と漠然と思った。	40代女性
3	大切な人へのメッセージの欄は、気持ちを整理してからでなくては、考えただけで泣きそうでなかなか書けないかもしれません。お葬式のことや財産は、子供が困らないためにも書いておいたほうがよいと思いました。	40代女性
3	良いと思います。	40代女性
3	全体のデザインが病院や施設の資料っぽくて好みが分かれそう。きちんと取り組むには、書き込む人が好むデザインが要求されると思った。	40代男性
3	自分の軌跡が残り、すばらしいと思います。	50代女性
3	自分にはまだまだはやいかなと思いました。	50代男性
3	ある程度のことは、記録しておく必要が、あると思います。	60代男性
3	こういう方法もあるんだなと感じた。	60代男性

●全員に伺います。

問13 その他、全体を通して「歳を重ねてからの過ごし方」について御意見、御提案などありましたら自由にご記入ください。（自由記述）

問13	
歳を重ねてから、とはいっても、これからの時代定年の延長など働く時間が長くなると思います。平均寿命ものびていくでしょうし、下の世代もすくなるなる以上、自分のことはできる限り自分で出来る年寄りになりたいです。	10代女性
人それぞれの場合に対応できることが重要だと考えました。	10代女性
優雅に裕福に過ごしたいが、健康が何より一番だと思う。病気を未然に防ぐのが一番だと思うので、市や企業で「健康割」などのサービスを開始し、健康にいればメリットがでる制度やサービスを定着してほしい。	20代女性
私のような30代くらいの人たちは、たぶん老後について不安が大きいと思います。年金はもらえるかわからない、などの噂はいつも聞きますし、自分たちの子どもへの負担とかも心配です。きっと70になっても働いてるんだろうとかの不安が先立って、快適な老後、というのがあまり想像できないですね。	20代女性
出来る限り家族の迷惑にならないようにしたい。	20代女性
病気にならないためにも、運動等必要だと思うので、公園に健康器具、散歩コース整備等、外での環境をもっと良くしてほしいです。	30代女性
自分のことより、家族のことを考えると心配なことが多々ある。	30代女性
趣味を持って取り組むべき。もっと若い世代の助けになることをすべき。特に子育て支援など。	30代男性
エンディングノートは、しまっておくよりも、家族にあらかじめ「ここにあるよ」と伝えておく必要があると感じました。家系図など、知っておくことで、次の世代にのこしておけるので、親・祖父母が元気なうちに聞きたいと改めて思いました。	40代女性
とてもわかりやすくて良い。一度市の人達に配布するのも良いと思います。	40代女性
高齢になってからの延命措置はしないでほしい…お葬式は質素にやってほしい…などは夫婦で話していますが、介護などは具体的な話をしたことはありません。もう少し、考えていこうと思う。	40代女性
子供に負担をかけないように、お金を貯めておこうと思います。施設に入ったとき、どのように気持ちを前向きにするのか、自分には、できるのか漠然とした不安があります。いまは、夫婦ともに健康寿命を延ばすようにしていきたいです。	40代女性
好きな事をして後悔の無いように生きたい。子供に少しばかりは財産を残してあげたいが額を決めて自分と妻の為に使い切りたいと考えている。遺産相続する人間が簡単に手続きできるように生前に仮手続きして死んだら発効するような仕組みができれば悲しみにくくしながら手続きに奔走しなくて済む。	40代男性
歳を重ねたら断捨離をするのが、私の過ごし方の一つです。それと、少しずつ運動を生活の中に定着させる。	50代女性
歳を取ったら、もっと縛られない生活をしたい。自由に買い物に行ったり、遊びに行けるだけでいいから。	50代女性
年金、自分のお金がないので、老後は苦しいのかな？今、何をすればよいか教えてもらいたいです。	50代女性
まず無理はしない。いろいろ意味はあります。仕事をしたいです。	50代男性
市営住宅は現状高齢者の一人暮らしは困難。	50代男性

最期は誰にでも来ます。そこに向かって暮らしていくのではなく、歳をとっても、毎日楽しく希望を持って暮らしていきたいです。色々な事に参加をして出掛け、家に帰ってきたらその事を主人に話す（またその逆もある）。まだ60になったばかりで仕事もお互い辞めたばかりなので2人の生活を楽しくしています。	60代女性
地域共生型社会を学んできました。児童福祉と社会福祉と障害者総合支援を総合させた社会づくりです。自分ができること増やし多くの65歳以上の人と共に、子供や障害者に良い関係づくりの出来る環境をつくりたいです。	60代女性
「歳を重ねてからの過ごし方」について考えることは、とても貴重な機会となりました。	60代男性
今、一人住まいですから、趣味やボランティア活動等を通じて「人」との接触に努めています。	60代男性
家族にも、他人にも迷惑をかけずに過ごしたい。	60代男性
どんな小さな事でも、明日の予定、今後の計画を作り、過ごしたいと思えます。また仕事以外でも、人のために、なることを出来れば、人生が楽しくなれるかと思えます。	60代男性
運動や生きがい的大事で健康寿命を延ばす努力が必要です	60代男性
歳を重ねると、身体の悪い所が、あちらこちらに出てきて、自分の身体が、思うように動かせなくなってくるので、毎朝5キロのウォーキングをしています。	60代男性
70歳をすぎた現在、いろいろやりたいことは身体が動く限り実行していきたい。心おだやかな時間は趣味だと思う。幸い、公共施設などいろいろな講座があり、講演なども多く、楽しみながら時間を過ごしています。	70代以上女性
とにかく健康で穏やかに毎日過ごせたら幸せだと思います。	70代以上女性
友達がたくさんいるほうが楽しいと思えます。	70代以上女性
1) 基本的には人と会う、学ぶ、機会に積極的な参加を推奨する。 2) 私の現状は、小・中学校の同級生、会社で関係のあった人、同好会仲間と定期的な付き合いを継続している。平均的に3～4回/月の集まりがある。図書館、市でのイベントにも参加。 3) 妻は、各種の習いごとに参加している。	70代以上男性
今は元気だが要介護になったら安楽死をしたい	70代以上男性
年金市場の高齢化などが言われる中で、いたずらに老齢で片付けられないものがあるのではないのでしょうか	70代以上男性